

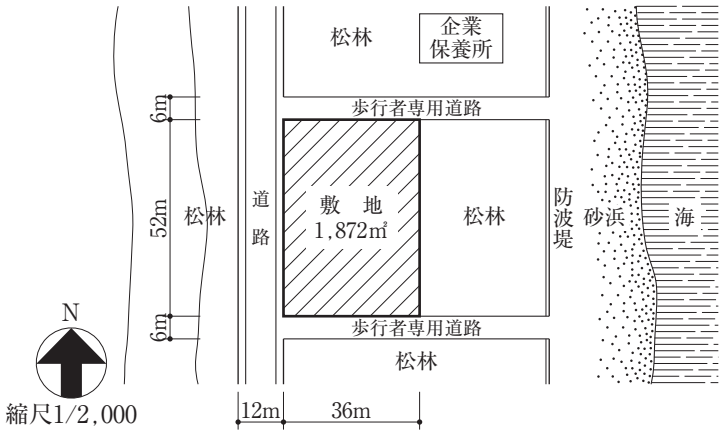
設 計 課 題 大学のセミナーハウス

I. 設 計 条 件

この課題は、東側に美しい海岸線が続く疎林地帯に、ある音楽大学のセミナーハウスを計画するものである。本施設は、学生と教員とが生活を共にしながら研修を行い、相互の交流を深めるとともに、施設の一部を地域住民など一般の利用にも開放し、講習会や演奏会の場を提供するものとする。

1. 敷 地 及 び 周 辺 条 件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- (2) 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- (3) 敷地は、都市計画区域及び準都市計画区域以外の区域内にあるが、建築物に対して次の制限がある。
 - ① 建ぺい率の限度は70%とする。
 - ② 主要な屋根は、道路側(西側)及び海岸線側(東側)に下る勾配屋根とする。
- (4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (5) 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- (6) 地下水、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2. 建 築 物

- (1) 構造、階数等
構造種別は自由とし、地上2階建ての1棟の建築物とする。
- (2) 床面積の合計
床面積の合計は、1,900㎡以上、2,300㎡以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- (3) 要求室
下表の室は、すべて計画する。

部門	室 名	特 記 事 項	床面積
セミナー部門	演 奏 ホール	・ 合同演奏会などに使用するほか、地域にも開放し、学外者を対象とした講習会やミニコンサートを開催する。 ・ 天井高3.5m以上とし、無柱空間とする。 ・ 準備室(20㎡以上)、前室(適宜)を設ける。 ・ 防音に配慮する。 ・ 演奏ホールの屋外にテラスを設ける。	計約150㎡
	練 習 室	・ 2室(約40㎡ / 1室)設ける ・ 楽器演奏の練習に使用する。 ・ 前室(適宜)、収納(適宜)を設ける。 ・ 防音に配慮する。	計約120㎡
	楽 器 倉 庫	・ 楽器を収納する。 ・ 演奏ホール及び練習室の近くに設ける。	約 30㎡
	セ ミ ナー 室	・ 研究発表、講演など多目的に使用する。 ・ 可動間仕切により、2室に分割できるようにする。 ・ 講師控室(適宜)を設ける。	計約100㎡
	交 流 ロ ビー	・ 学生及び学外者が、休憩・談話等に利用するスペースとする。	適 宜
	ミーティング室	・ 2室(約30㎡ / 1室)設ける ・ 小グループによる討論会、サークル活動などに使用する。	計約 60㎡
	コ ピー 室	・ 複写機等を備え、自由に使用できるようにする。	適 宜
宿泊部門	宿 泊 室 A	・ 洋室(4人部屋)を6室設ける。 ・ 収納を設ける。	計約180㎡
	宿 泊 室 B	・ 和室(6人部屋)を2室設ける。 ・ 押入、踏込を設ける。	計約 80㎡
	講 師 宿 泊 室	・ 洋室(1人部屋)を2室設ける。 ・ バス・トイレ・洗面台付きとする。	計約 50㎡
	談話ラウンジ	・ 休憩・談話等に利用するスペースとする。 ・ 自動販売機コーナーを設ける。 ・ 海岸の景観を楽しむことができるようにする。	約 60㎡
	浴 室	・ 浴室(大)及び浴室(小)を設ける。 ・ それぞれに脱衣室を設ける。 ・ 海岸の景観を楽しむことができるようにする。	計約 70㎡
	湯 沸 室		適 宜
	洗濯・乾燥室		
共用部門	リネン庫		
	エントランスホール	・ 風除室を設ける。 ・ 吹抜(30㎡以上)を設ける。 ・ 展示コーナー(約30㎡)を設ける。	適 宜
	食 堂	・ 厨房(食品庫を含む。)を設ける。 ・ テーブル、いす等を設ける。 ・ 食堂の屋外にテラスを設ける。	約120㎡
	更衣・シャワー室	・ 海水浴のためのシャワー設備を設ける。	適 宜
管理部門	管 理 事 務 室	・ 受付カウンターを設ける。	約 30㎡
	管 理 人 室	・ 管理人は夫婦1組とする。 ・ 2DKで浴室、便所を設ける。	約 40㎡
	職 員 更 衣 室	・ 男性用、女性用として各1室設ける。	適 宜
	設備スペース	・ 採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気等)、屋外機置場等を計画する。	
・ 上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。 ・ その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

3. そ の 他 の 施 設 等

- (1) バーベキュー・パーティーのできる50㎡以上のテラス(ピロティ、上部に屋根等がある部分を含めてもよい。)を、食堂の屋外に設ける。
- (2) 演奏ホール利用者の休憩等に使用できるテラス(70㎡以上)を、演奏ホールの屋外に設ける。
- (3) 駐車場は、平面駐車とし、施設利用者用として5台分(車いす使用者用1台分を含む。)、サービス用として1台分を設ける。なお、これ以外の施設利用者用及び職員用の駐車場については、敷地外に別途計画されているものとする。
- (4) 駐輪場は、施設利用者用として20台分を設ける。
- (5) (1)～(4)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- (1) 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 海岸線の良い景観を活用した計画とする。
 - ② セミナー部門、宿泊部門、共用部門及び管理部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とするとともに、避難等に配慮する。
 - ③ バリアフリーに配慮する。
- (2) 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
 - ② 構造種別、架構形式及びスパン割を適切に計画する。
 - ③ 耐震性に配慮し、必要に応じて耐力壁等を設ける。
 - ④ 部材の断面寸法を適切に計画する。
- (3) 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火・防災設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。なお、給水設備は受水槽方式とする。
 - ② エレベーターを適切に設ける。
 - ③ 排煙設備を適切に設ける。

II. 要 求 図 書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要 求 図 面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。

図 面 及 び 縮 尺	特 記 事 項
(1) 1 階 平 面 図 兼 配 置 図 1/200	① 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 採用した構造種別、架構形式及びスパン割に応じて必要となる構造要素(凡例の空欄に記入し、図示する。) ニ. 設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。) ヘ. 断面図の切断位置 ト. 演奏ホール、練習室、セミナー室、交流ロビー、ミーティング室、談話ラウンジ、浴室(大)、浴室(小)、食堂、管理事務室、管理人室及び設備機械室の床面積
(2) 2 階 平 面 図 1/200	② 宿泊室A及びBについては、次のものを図示又は記入する。 イ. 各宿泊室のうち代表的な1室の室内プラン及び床面積 ロ. 各宿泊室の出入口、パイプスペース ハ. 各宿泊室の表示(宿泊室AはA1～A6、宿泊室BはB1及びB2)
(3) 断 面 図 1/200	③ 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 食堂及び演奏ホールの屋外に設けるテラス(面積を記入する。) ハ. 駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。) ニ. 通路、植栽等
(4) 2 階 梁 伏 図 1/200	④ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路 ロ. 1階の屋根、ひさし等となる部分
(3) 断 面 図 1/200	① 切断位置は、演奏ホールを含み、建築物の全体の立体構成及び屋根形状(勾配屋根)がわかる断面(東－西)とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。
(4) 2 階 梁 伏 図 1/200	① 2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号、部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使用した場合の断面寸法は、H－○×○のように記入する。

2. 面 積 表(答案用紙Ⅰに記入)

地上1、2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- (1) 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① 海岸線の良い景観の活用について、配慮したこと
 - ② 演奏ホールの計画について、その位置とした理由及び動線計画において配慮したこと
 - ③ 演奏ホール及び練習室の防音について、配慮したこと
- (2) 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
 - ② スラブ及び小梁の架け方について、配慮したこと
- (3) 設備計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① 演奏ホール、セミナー室、宿泊室A及びBに採用した空調方式と採用した理由
 - ② 「受水槽及び給水ポンプ」及び「受変電設備」について、その設置場所を記入し、維持管理又は機器からの騒音・振動防止の観点から配慮したこと
 - ③ 排煙計画について、配慮したこと